

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：斉藤 親

事業名	はしまたいばんしゅつよんこうせん 補助第44号線		事業区分	街路	事業主体	大田区
起終点	とうきょうとおおたくかみいけだいさんちやうめ 自：東京都大田区上池台三丁目 とうきょうとおおたくながいけがみいっちやうめ 至：東京都大田区仲池上一丁目			延長	0.2 km	
事業概要	補助第44号線は環7から環8を結ぶ重要な路線であり、その中で本箇所は、補助第48号線と補助第43号線との重要な結節点である。現状は、路線バスや国道1号、中原街道、環7に抜ける車が錯綜するなど交通が集中しており、交通の円滑化及び避難道路としての整備及び歩道の安全確保のために事業化しているものである。					
H6年度事業化	S21年度都市計画決定	H6年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	24億円	事業進捗率	74.9%	供用済延長	0.8 km	
計画交通量	8,000台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.5 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) / 21億円 事業費： / 20億円 維持管理費： / 1億円	総便益 (残事業)/(事業全体) / 53億円 走行時間減便益： / 50億円 走行費用減少便益： / 2億円 交通事故減少便益： / 0億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	本箇所を整備することにより、交通の輻輳する交差点の混雑解消にも寄与するとともに、歩行者空間も確保することができる。					
関係する地方公共団体等の意見	交通の渋滞緩和と道路のネットワークを形成するものであり、地元から区への要望もある。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	交通ネットワーク整備の必要性や、歩行者空間の確保についての要望は変わっておらず、本事業への必要性は変化していない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地については難航物件も一部あるが、今後鋭意交渉を行ない用地取得へ努める。用地取得後は電線共同溝や街築の整備を行予定であるなど、概ね順調な事業進捗が見込まれる。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部用地補償交渉が難航し工事着手が遅れたが、現在80mの区間が完成している。					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	補助第44号線は環7から環8を結び、区部の交通ネットワークを形成する上で重要であるとともに、防災機能の向上、歩行者空間の確保、地域のまちづくりの観点からも事業の必要性が高い路線である。今後街築整備をすすめ、交差点における事業効果を発現させるためにも、継続する必要があると考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

